

にしめら 議会だより



2024 11月

No.175

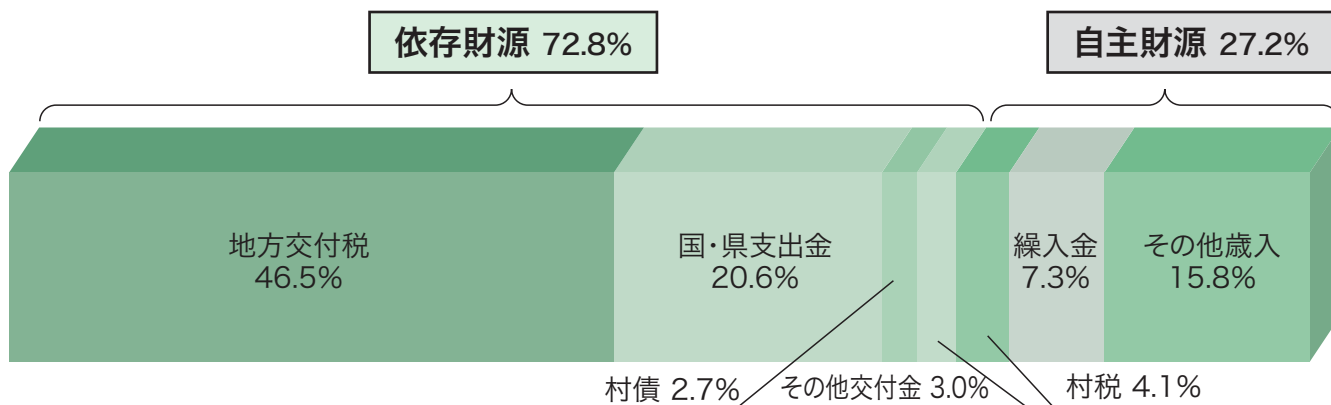
発行：西米良村議会

- ◎ 9月定例会 P 2
- ◎ 決 算 認 定 P 4
- ◎ 監査室より P 8
- ◎ 補 正 予 算 P10
- ◎ 第1回臨時会 P12
- ◎ 第2回臨時会 P12
- ◎ 現 地 調 査 P14
- ◎ 一 般 質 問 P15

みつばちの世話をする黒木助吉さん(桐囲)

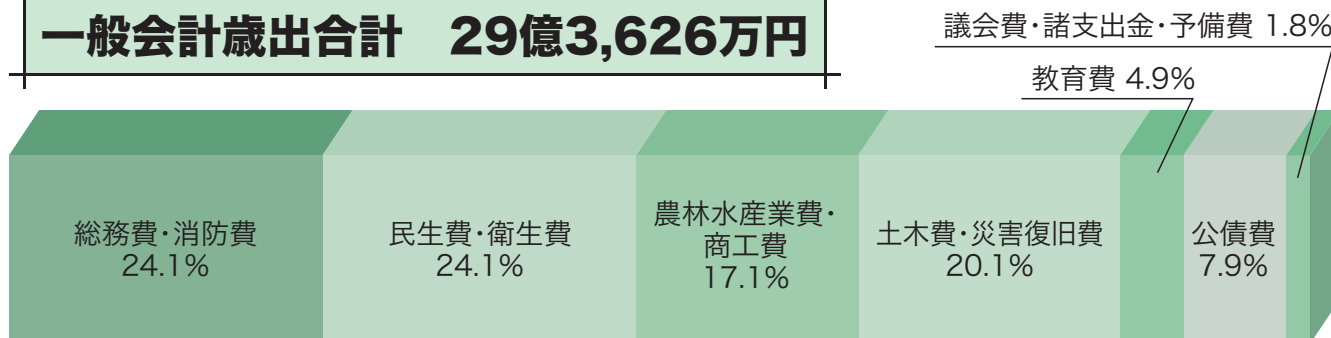
決算を認定

一般会計歳入合計 32億6,185万円



歳入 依存財源 23億7,605万円	地方交付税	15億1,578万円	一定の基準で計算された財源不足額に対して国から交付されるもの
	国・県支出金	6億7,443万円	決まった目的に使うため、国や県から交付されるもの
	村債	8,740万円	道路や公共施設の建設などの事業を実施するときに借りるもの
	その他交付金	9,844万円	色々な基準で国から交付されるもの
自主財源 8億8,580万円	村税	1億3,365万円	村民が収める税金
	繰入金	2億3,684万円	村の基金(貯金)から繰り入れるもの
	その他歳入	5億1,530万円	制度や財産の活用で収入となるもの
合 計		32億6,185万円	

一般会計歳出合計 29億3,626万円



歳出	総務費・消防費	7億 689万円	移住定住、税の徴収、村民の安全・安心などのために使われるもの
	民生費・衛生費	7億1,063万円	村民の福祉の増進や健康増進のために使われるもの
	農林水産業費・商工費	5億 230万円	農林水産業・商工業の推進に使われるもの
	土木費・災害復旧費	5億9,097万円	道路や公共施設の建設・修繕、災害の復旧に使われるもの
	教育費	1億4,244万円	学校教育・社会教育・文化財保護などに使われるもの
	公債費	2億3,104万円	村の借金の返済に使われるもの
	議会費・諸支出金・予備費	5,198万円	議会運営やその他の支出に使われるもの
合 計		29億3,626万円	

9月
定例会

令和5年度

令和6年第3回定例議会が9月6日から13日まで8日間開催された。

令和5年度一般会計及び特別会計の7会計について決算審査特別委員会を設置し集中審議を行い全ての会計を原案どおり認定した。

また、条例改正、補正予算などの議案8件、追加議案2件を審議し、全てを原案の通り可決した。

一般質問は村長に対し3名が行った。

一般会計・特別会計決算の状況

会 計 名		歳 入	歳 出	実質収支
一 般 会 計		32億6,185万円	29億3,626万円	2億 210万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	2億7,300万円	2億6,509万円	790万円
	西 米 良 診 療 施 設	3億5,653万円	3億2,432万円	3,220万円
	介 護 保 険 事 業	2億 61万円	1億6,819万円	3,242万円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2,421万円	2,278万円	143万円
	簡 易 水 道 事 業	1億1,292万円	9,962万円	1,329万円
	下 水 道 事 業	4,419万円	2,655万円	1,764万円
合 計		42億7,331万円	38億4,281万円	3億 698万円

※実質収支については、翌年度の繰越財源を除く。

特別会計の状況

特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	加入状況 160世帯、被保険者数 262人
	診 療 施 設	入院 1,121人、外来 7,305人、歯科 588人、 合計 9,014人
	介 護 保 険 事 業	加入状況 303世帯、被保険者数 430人(※65歳以上)
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	被保険者数 261人
	簡 易 水 道 事 業	給水世帯 444世帯、給水人口 652人、普及率 67.36%
	下 水 道 事 業	処理人口(区域内) 409人、普及率 99.03%

決算認定 質疑応答

◆一般会計

黒木敏浩 職員採用の状況は？

答 令和6年度採用の一般事務で4名が受験し3名が採用となった。試験については統一の採用試験で行った。

田爪朝幸 地域おこし協力隊の状況は？

答 これまでに採用した人数は21名で、現在4名の方に勤務して頂いている。既に退職された17名のうち5名の方が定住され定着率が29%程となっている。

上米良重光 公共交通共創モデル実証プロジェクト支援業務委託料2,486万円の内容は？

答 デマンドバスの開始

に伴う実証実験や予約システムの構築、必要備品の整備等となっている。

濱砂恒光 浩然の気を養う補助金の内容は？

答 令和5年度については6件の申請があった。内容については、商品販売用のHPの制作、商品パッケージのリニューアル、加工所の整備、空き店舗の整備、ドッグランの整備、商品開発の6件となる。

田爪朝幸 ホイホイ便配送受付業務の実績は？

答 郵便が1万2,998件、ヤマト運送の荷物が523件、佐川急便の荷物が124件の取り扱いがあった。

黒木敏浩 免許返納者商店街利用券の利用状況は？

答 令和5年度は8名の方が免許返納された。以前はタクシー利用券のみ

であったが、2月より商店街の利用券として使えるようになった。

黒木敏浩 お試し滞在住宅の利用状況は？

答 令和5年度は、6名の利用があり最短で1日最長で3か月で、延べ日数が159日となっている。

児玉義和 通いの場の利用状況は？

答 利用者の皆様に楽しみに来ていただき活用して頂いている。村所地区で月7～8回、小川地区などで月2回行い、開催回数は150回で延べ人数は約700名の利用があった。

黒木敏浩 医療福祉職育成奨学資金の内容は？

答 医療職や福祉人材のための貸付金となっている。貸付金額は1人72万で3名の方に貸し付けている。

児玉義和 放課後児童クラブ運営業務委託料の減額の理由は？

答 令和5年度は、支援員1名、補助員5名で運営を行った。令和4年度と比べると1名減となりその手当の差額分となる。

濱砂恒光 出産応援ギフトの内容は？

答 出産後に必要になるもので、主におむつなどであるが本人の希望も同じ、その都度購入品については選択している。令和5年度は6名の利用があった。

黒木敏浩 火葬場の利用が減っていると思うが、施設の問題点は特になにか？

答 昨年度は19名の方が亡くなっているが、村外での葬儀が増えている関係で利用が減っている。昨年度の利用は2名とな

っている。現在のところ特に問題点はない。

黒木敏浩 スマート農業等生産基盤創出実証事業、青ゆずを活用したブランド創出事業の成果と展望は？

答 スマート農業等生産基盤創出実証事業では、センサー搭載の選果機の実証実験を行った。手作業での選果と比べ1コンテナ当たり4分程度に短縮することができた。今後については、置き式ではなくコンテナ投げ込み式での選果が出来ないか



スピードスプレーヤー
(農薬散布機)

と考えており、生産の効率化、出荷のスマート化に繋げていきたい。他には、林業研究グループに協力依頼し2件のゆず園内の低樹高化を実施した。

また、ゆず園内の消毒を行う大型の機械を導入し実証を行い、1回あたり26%削減の実証確認ができた。その他には園内道の整備と定置配管の整備を1ヶ所ずつ行った。

青ゆずを活用したブランド創出事業は、香りの見える化のため予備試験を実施し、本年度香りの差別化を図るための準備を行っている。また、西米良のゆずの魅力を前面に押し出すためのロゴマーク等の作成や商標登録の申請も進めた。ブランドストーリーをまとめた販売促進ツールと、ゆずの魅力をまとめたリーフレットを作成し製品と一

緒に発送を行っている。通販を視野に入れたパツケージも試作し販売の準備をしている。

児玉義和 子牛の価格が暴落している。畜産農家の今後についてどの様に指導していくのか？

答 畜産業の現状は非常に厳しい状況下にある。直近の子牛のセリ価格は50万円を切るか切らないかぐらいまで下がっている。また、飼料の高騰もある。そういった現状を踏まえ今後も継続していきけるよう取り組みを行う。

上米良重光 ジビエ施設の状況は？

答 従業員が5名で令和5年度の売上高は1,453万7,898円で純損失は60万5千円となった。取引先は59社で大手の会社から卸売業者を経て関東圏のスーパードや全国チェーンの小売店舗

に販売されている。年間の処理頭数は、鹿316頭、イノシシ84頭の計400頭で、そのうち西都市から鹿76頭、イノシシ13頭が搬入されている。村内の捕獲頭数は鹿639頭、イノシシ317頭、サル17頭の合計975頭で、そのうち食肉利用されたものは311頭で31.9%となった。

田爪朝幸 川の駅百菜屋の改修の計画はあるのか？

答 現状については機器

の更新などは考えているが大規模な修繕等は考えていない。

田爪朝幸 小川石打谷線の開通はいつごろになるのか？

答 先月の台風10号により災害が発生している。災害復旧申請の後に工事発注を予定しているので、今年度の開通は厳しいと考えている。

白石幸喜 上米良山村定住住宅下流の空き地の今後の利用と上米良地区上水道整備に伴い現在、山村定住住宅で使っている水道滅菌処理施設が不要となるが有効活用、利用の考えはあるか？

答 山村定住住宅下流の空き地については予定がない状況にあるので検討したい。滅菌処理施設については、担当課と協議し有効活用できるように考えたい。

黒木敏浩 タブレット端末での教育の効果は？

答 家庭と学校の学びをつなぐコネクト学習を行っている。タブレットを使い家庭や学校で学んだことを復習できる、また学校より課題を出し学習を行う取り組みを行うことで、子供たちがどの程度理解しているかを教師が把握することもできる。

復習型、予習型、活用型と言うことで、2台のタブレットを有効に活用すること、確実にこんなことを勉強したい、こんなことを追求したいという子供たちが育っているのは確かではないかと思っている。

田爪朝幸 ふるさと納税の内訳と、昨年度より減額となった理由は？

答 令和5年度の状況は、個人版ふるさと納税が622件の705万6千円



川の駅百菜屋

で、企業版ふるさと納税が2社の60万円となっている。減額の理由は、令和4年度では災害寄付金として寄付金を頂いていたが、5年度はなかった点が大きき要因と考えている。

児玉義和 菌床栽培施設の利用業者が撤退されたが、今後の予定はあるのか？

答 今後の予定はない状況にある。設備の機械類が古いことや施設全体が老朽化していることなどもあり、次の業者からの相談等は今のところ入ってきていない。

◆特別会計

国民健康保険事業

濱砂恒光 役務費、産前産後期間相当分保険料の免除対応手数料45万千円の内容は？

答 全てシステム改修の費用となっている。

黒木敏浩 一般被保険者療養給付費負担金が計上されているが、疾病の傾向等は？

答 本村の傾向としては、メタボリックシンドロームと糖尿病予備軍が多いことが分かった。高血圧や糖尿病、メタボなど生活習慣病に関連性の高い

脳血管疾患や心疾患などが対象として上がっている。

濱砂恒光 委託料の保健指導実施支援委託料と保健指導支援ツールの違いは？

答 保健指導実施支援委託料は、研修会に係る講師の派遣代となっている。

保健指導支援ツールは検診や医療のデータの分析と対象者選定に使用するツールとなっている。

上米良玲 保険事業とい

うことで、各種の検診をしているが年々申込者が減少している様である。

申込日を決定するのに難があると思われるので、日にちの幅を持たせてもらえないか？

答 申込を受ける際に希望をしっかりと聞いて、医療機関と連携してなるべく希望に添えるように実施している。

田川朝幸 疾病予防費で健康づくり事業景品と健康づくり事業消耗品とあるが内容と実績は？

答 健康づくり事業景品はウオーキング事業ヘルスチャレンジに対する商

品券の発行金額。参加者は46名。参加賞の配布者は41名であった。健康づくり事業消耗品については、ヘルスチャレンジで景品として配布する減塩商品等と健診物品などの消耗品代である。

濱砂征夫 現在運動器具が置いてある場所は、会議等があると使いにくいと思うが今のままか？

高齢者住宅の談話室に置く話も出ていたが？

答 この運動器具の置き場所については、検討課題とさせていただきたい。

温泉に置いてはどうかという話もあるので、村民の方が利用しやすい所で検討していく。

上米良重光 施設管理費の使用料及び賃借料の中で、健康管理システムリースの内容は？

答 健診の申込情報、訪問した結果の状況記録、健診の結果等すべての個人情報が入ったシステム

のリース料であり、マイナポータルの方に反映されるようになっていく。

田川朝幸 歳入の特別交付金、特別調整交付金が令和4年度に比べて28%

の減になっているが、その理由は？

答 令和4年度には、診療所に電子カルテの導入があったため交付金の増額があったものである。

白石幸喜 今後保険事業についての構想があれば伺いたい。

答 保険者数が少ないため、1人でも高額医療の医療費がかかった場合には保険料が高くなってしまう。システムで独自分析をしたり、アプリを使

っている先進地への視察等を行い、新たな事業をどう展開していくか模索していきたい。

診療施設

黒木敏浩 診療所一般管理費の報償費の中で代直応援診療業務800万円が計上されているが、提携している江南病院、宮

医大、公立多良木病院、県病院、三財病院については、今後も継続して連携されていくのか？

答 今後も、連携を図りながら継続していく。

上米良玲 概要欄の職員の体制の中で、5年後10年後には多くの看護師が定年を迎えるとのことだが、対応策はあるのか？

答 実際のところ募集をかけても応募がない状態である。今後は、なお一層医療関係の奨学金制度を推奨すると共に、利用した学生の支援を行い、後に村内就職への人材確保に繋げていきたい。

上米良重光 歯科診療所の運営状況が厳しいようだが、今後の運営方針は？

答 現状は了解している。今後も村内唯一の歯科診療所として、村民の方に

認知していただきしつかりとした対応で、利用推進を図っていきたい。



歯科診療所

濱砂征夫 以前も質問した経緯があるが、現状で予約制の必要性があるのか？ 飛び込み患者でも受け入れしても良いのでは？

答 色々な意見をもらっているが、現時点で歯科診療所としては、予約制を継続していきたいという考えである。この問題については、今後さらに協議検討していきたい。

田爪朝幸 診療所の待ち時間がちよつと長いのではと聞くが？

答 他の団体からも意見をもらっている。健診、検査もあることからある程度のご理解はいただきたい。今後は、通常業務においての時間のロス等がないか検討し、患者の待ち時間短縮に向けて努力していく。

介護保険事業

上米良玲 住宅改修費ということで7万円ほど上がっているが、件数と工事内容は？

答 実績は4件で、住宅内の手すりの設置及び踏み台の設置である。

田爪朝幸 介護予防住宅改修費の内容は？

答 実績は2件で、手すりの設置と住宅に入るま

での通路の段差解消工事である。

濱砂恒光 認知症初期集中支援事業の「認知症を学ぶ会」の開催内容は？

答 集落センターで開催。外部からの講師をお願いし、講演会を開催した。参加者は45名であった。

後期高齢者医療事業

黒木敏浩 疾病の傾向は？

答 骨折や整形（筋骨格）が、33.3%と最も多く、次いで、慢性腎臓病透析ありの方が17.3%、その次に精神疾患が14.5%といずれも県より高い状況であった。

簡易水道事業

上米良玲 村内のメーター検針の件数は？

答 444件を管理している。

田爪朝幸 公営企業移行支援業務委託1,243万円の財源は？

答 公営企業会計適用債として1,240万円を借り入れている。

黒木敏浩 水道料金の県内他市町村の状況は？

答 市町村で色々な料金設定をされており、高千穂町、日之影町、椎葉村、木城町、串間市など一部の市町村を調査した結果では、10㎡使用した場合の平均が1,962円となっており、本村では1,287円となっている。

上米良重光 現在、上米良地区の工事が行われているが、その後の計画はあるのか？

答 水道事業の許可を取っている中では、次の事業は横野地区を計画して

いる。

児玉義和 令和5年度に田

無瀬地区の水道工事をしていただき、今年の台風でも被害もなく、住民も大変喜んでおりあらためて感謝する。

答 ありがたいお言葉をいただいた。担当も日々の点検等を行い、安全な水を届けるように努めたい。

濱砂恒光 要望だが、八毛巻地区の水道を地区民で管理を行っている。メーターの部分が目詰まりを起こした場合、道具もなく地区民ではできないので、なんらかの機会に除去していただけないか？

答 毎月定期的にといいことは難しいが、相談に応じて時期をみて対応したい。

田爪朝幸 歳入歳出差引残額1,329万4千円は、企業会計に繰越金として収入となるのか？

答 繰越金ではなく、引継ぎ金として全額企業会計へ移行している。

下水道事業

田爪朝幸 下水道施設電気料

が、令和4年度から70万円ほど減額となっている理由は？

答 電気料はその年の稼働状況にもよるが、令和4年度はモーター関係の異常等で空回りなどが有り増加した。改修を行った結果令和5年度は減額となっている。

黒木敏浩 下水道の処理量は、水道の検針結果を利用しているが、水道事業の給水人口と下水道事業の処理人口の違いは何か？

答 下水道事業の処理範囲が水道事業の給水範囲の一部となっているためである。

監査室より

令和5年度の決算監査を実施いたしましたので、その結果について公表いたします。

審査の結果

全国各地で発生する台風、豪雨による災害や能登半島地震、宮崎地震等による大災害

は国、地方の行財政や経済に大きな影響をもたらす中に、政治家の政治と金の問題や不祥事、そしてとどまらない物価の高騰に国民の不安や怒り、

新設、高齢者住宅の建設、ふるさと納税への推進強化は期待される明るいニュースでした。

また、村民の健康を守る福祉健康課、社会福祉協議会の職員の方や、診療所の先生方、職員の皆さんの頑張りに敬意を表したいと思えます。

ストレスは計り知れないものがありますが、村政においては、かりこぼうず商品券交付等の物価高対策を行いながら、村の重要施策である少子化対策、高齢者対策、教育対策、農林業振興対策等に積極的に幅広い施策が講じられ、村政が推進されました。

なかでも定住対策等の推進に取り組む「すまいる課」の

そして、毎年続く台風や豪雨の災害対策に対処している総務課、村道、林道、上・下水道や各種災害復旧工事等を担当する建設課、課長を始め担当職員の皆さんの努力も高く評価されます。

ただ、期待の大きかった若い技術職員が公務中に交通事故で亡くなったことは極めて残念なことで、悲しい出来事

監査室より

でした。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

◆改善、調査検討を求めた業務

各種団体や個人への補助金は212件、2億4千万円余りが交付されました。補助金の多くは物価高や子育て等に

頑張る皆さんの支援や、村の活性化等に頑張る各種団体等の支援ですが、中には長年継

続され効果が薄いと思われるものや、補助金の趣旨が類似する補助要項があり、同じ団

体が両方から補助金を受けることが可能なものや、補助金の目的に合致しているのか疑問に

思われるものへの補助も見受けられました。

村の活性化に頑張っていた

だく団体や個人を支援する補助金は大変重要な施策ですが、

補助金の多くが村の単独事業で、村民の税金で賄われていることを念頭に、補助金の効果や公平性を見極める内容審査を行い、類似する補助金等の見直しも必要ではないかと思われ

ます。

◆厳しくなる水道、下水道会計

村が管理する水道施設は7施設で、給水人口652人となっています。村が管理しない一般家庭飲料施設の整備補助事業も要望により毎年実施され、安定した飲料水等の供給がなされています。

令和6年度から、上米良地区も村管理の水道施設として整備が計画され大変喜ばしいことです。ただ、令和6年度から水道、下水道会計は公営企業会計に移行することが義務化され、これまでになかった施設の減価償却費を計上して支出しなければなりません。

将来の施設の老朽化による改修経費を確保しておく制度ですが、減価償却費は両会計で年間5千万円余りの支出が見込まれ、令和5年度の決算では収入の約20%が使用料、80%を一般会計からの繰入で賄っており

ますので、益々厳しい運営が予測されます。

◆高く評価される業務

昭和59年度に取り組みが始まった地籍調査事業は、令和5年度で村内全域の調査が完了しました。実に40年という長い期間、村の面積の96%を山林で占める広大な面積で急峻な山中を歩き、地権者との境界確認、伐開、測量を進め事業を成し遂げたその時々

の担当者の方々には深い敬意を表したいと思います。

なかでも最後に残された山深い場所の調査と共に、地籍調査で最も重要で難解な業務と言われる県、市町村の境界確認現地調査等に13年間に亘って取り組んだ松葉大樹主査は、熊本県界の多良木町、湯前町、水上村や県内5市町村界を大きな問題もなく完了させました。

全国には未だ地籍調査に取り組んでいない自治体が数多くある中に、早くから積極的

に取り組みをした西米良村と共に松葉主査は東京に招かれ、全国国土調査協会から感謝状が贈られたとのことで、高く評価される業績だと思

います。

代表監査委員 黒木 正近

議選監査委員 児玉 義和

現地調査

一般質問

条例の改正等

国民健康保険条例の

一部改正

令和6年12月2日からマイナンバーカードと保険健康保険証が原則一本化され、被保険者保険者証が新規発行されなくなる。それに伴い資格喪失時の被保険者証返還に関する規定等を改める。

補正予算

令和6年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1億6,824万5千円を追加し、補正後の総額34億3,472万4千円となった。

濱砂恒光 村内放送の情報網整備修繕費300万の内容は？

また越野尾活性化センター移設に伴う給水施設工事費300万円の内容は？

答 宮之瀬方面の吹付工事に伴い電柱移転が必要となり、村の光回線も移動が必要となったための改修工事経費である。

答 越野尾活性化センター施設の移設に伴い、給水管の埋設距離が35mから61mに伸びるため工事費を補正した。

上米良重光 林業振興施設費の備品購入費621万の内容は？
また施設改修工事5千万の内容は？

答 備品購入費は森林館リニューアルに伴う備品の購入で、会議用テーブル19台や椅子50脚等を予定している。

答 施設改修工事5千万は西米良温泉ゆたーとの敷地内にある介護予防拠点施設を簡易宿泊施設に改修するものである。

現在、村内の民宿の閉鎖も続き、キャンプ場整備も遅れており宿泊できる場所が少ないため、宿泊が出来ない事態も発生している。今回この改修工事が行われると、通年で6部屋以上、12名以上の宿泊が可能となる。

財源として県より2分の1の補助金を頂く計画である。



ゆたーと介護予防拠点施設

濱砂征夫 ゆたーとの宿泊施設だが、現在温泉は水曜日が定休日、火曜日はレストランも休みであるが、このあたりの兼ね合いをどのように考えるか？

答 水曜日休館、火曜日も食事が無い現状だが、働き方改革も相まってなかなか改修するのは難しい現状である。水曜日休みで宿泊の計算をしたときに、仮に1泊2食つきで8千円の価格だったら1,500万ぐらいの収入増となる。これは仮定の話で、

後の運営については、米良の庄と村も一緒になって検討したい。

児玉義和 地域おこし協力隊の報酬が減額になっているが、これは隊員が途中でやめたということか？

また、免許返納者への商店街利用券交付が60万増となっているが、これは対象者が増えたということか？

答 地域おこし協力隊の減額は予算組み替えのためである。これまでの役場の会計年度職員として雇用する形態から、雇用を委託する形態に組み替えるもので、具体的には新たに地域おこし協力隊2名に12月から米良の庄で働いていただく4ヶ月分を組み替える。

答 免許返納された方が令和6年度に入り既に8名いる。タクシー利用券から商品券になったことも影響があったかと考える。まだ返納者が増える可能性があるため増額を行う。

田爪朝幸 最近高齢者の方の事

故が増えている。村道林道の危険箇所についてガードレール等の計画は？

答 村道林道等に安全施設がないところが多数ある。毎年計画的に設置を進めているところであり、優先順位等を考えながら整備を進めていきたい。

黒木敏浩 神楽PRコンテンツ作成委託とあるが内容は？

答 最新デジタル技術を使い、神楽の記録保存を行うもので、360度カメラによるバーチャル映像を考えている。制作された映像を来年開催される大阪関西万博へ催事出店し、神楽の魅力を広くPRする。事業費については県の補助金を活用し、今年の神楽3ヶ所で撮影等を行う。

児玉義和 神楽関連で収入の部に教育費県補助金750万とあるが、これが今の神楽PR事業ということか？

答 神楽事業への県補助金である。事業費4分の3の750万が補助、村の持ち出しが250

万の予定である。

濱砂恒光 福祉人材確保の補助金とあるが内容は？

また何名分となるか？

答 今回新規で要求するもので、天包荘の再建のための待遇改善や、施設の修繕に向けた補助金等である。人材確保のため

の助成で、福祉高齢者施設に就職した場合、毎月の支援金として月3万円、継続支援金として1年ごとに10万円、また移住定住につながった場合にはさらに移住支援金での支援を考えている。今回7名分で計上している。

上米良玲 宮之瀬ふたば園跡地に住宅建設計画があるが、宮之瀬、竹原、桐原囲住宅も50年以上を経過している。改築、つくり直すという計画は？

答 宮之瀬の新しい住宅については、プロポーザルということ、2社ほど手が挙がっている(9月6日現在)。宮之瀬住宅ができることによって、ある程度の住宅不足は解消できると考えている。他の住宅については雨

漏りなど、毎年何かしら修繕が出ている。優先順位をみながら、改修を続けていきたい。その後の計画については解体するにしても金額が大きくなるため慎重に計画をしていきたい。

上米良玲 最近の資材高騰を考えると、今後の住宅改修等にもかなりの費用がかかると思われる。基金等を計画的に積立てしていきながら、村民の住居を確保していただきたい。

黒木敏浩 新型コロナワクチンの接種委託料が上がってきている。対象者と予想の人数は？

答 対象者は65歳以上の方が300名、64歳以下の方は任意接種で30名、合計330名で予算を計上している。

黒木敏浩 今後将来的にインフルエンザと同じような扱いになるのか？

答 コロナも定期接種という扱いで同様になると考えている。

◆特別会計

国民健康保険事業

903万9千円を追加。総額2億8,253万千円とする。
主な歳出は、人件費の調整と保健センター玄関の修繕費。

診療施設

315万6千円を追加。総額3億408万9千円とする。
主な歳出は、人件費の調整、県補助事業費確定に伴う返還金等。

介護保険事業

3,013万4千円を追加。総額2億709万6千円とする。
主な歳出は、人件費の調整と介護給付費準備基金への積み立て、介護給付費等の事業費確定に伴う償還金。

田爪朝幸 地域支援事業費の委託料、総合相談委託料とあるが内容は？

答 高齢者住宅入居者の見守り等をにしめら薬局に委託するものである。

後期高齢者医療事業

94万3千円を追加。総額2,615万6千円とする。

主な歳出は、事業費確定に伴う一般会計への繰出し金。

簡易水道事業

収益的収入432万7千円を増額し、補正後の総額が6,878万4千円となり、資本的収入842万6千円を増額し、補正後の総額が1億6,619万9千円となった。

下水道事業

収益的収入41万円を増額し、補正後の総額が5,528万5千円となった。

第1回臨時会

工事請負契約

カリコボーズの宿リニューアルに伴う水道施設整備工事の請負契約

請負業者 株式会社ウオーター

テック 西日本支社 支店長

川越敏彦

請負金額 2億5,267万円

黒木敏浩 契約が締結されているが、工期はいつになるか？

答 工期は来年の3月までとなる。

田爪朝幸 水道の工事で温泉の営業が停止または休みになるなど、影響はあるのか。

答 配管をつなぐ際に、1日か2日は休業の可能性もある。

令和5年度(令和4年発生)村道横野古川線道路災害復旧工事請負変更契約

○主な内容としては、法面整形後の復旧面積に変更が生じたために変更契約を行う。

変更前5,885万円、変更後5,900万5千円

◆一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ121万円追加し、総額32億6,647万9千円となった。

主な歳入は物価高騰対策重点

地方臨時交付金121万円

主な歳出は令和6年度非課税

世帯等への給付金と定額減税しきれないと見込まれる方への給付金等121万円である。

黒木敏浩 今回の交付金が決定したこと対象世帯の変動はあるのか、給付時期はいつか？

答 6月定例会で予算を計上していた金額についての追加補正となる。

世帯数については4世帯増えており、非課税世帯が31世帯ということ、内訳については、均等割のみの世帯が9世帯、非課税世帯が22世帯で計上している。

第2回臨時会

工事請負契約

宮之瀬定住促進住宅整備工事

・請負業者 大和ハウス工業株式会社 九州支社

・請負金額 1億8千万円

田爪朝幸 本工事費の財源は？

答 過疎債で対応する。

田爪朝幸 補助金はないということか？

答 その通りである。

上米良重光 予定制限価格はなかったのか？

答 今回は公民連携公募型プロポーザルを導入し、民間のノウハウ活用によるコストの低減が期待されるということで、設計額は2億9,246万3千円であったが、最低制限価格は設けていない。

黒木敏浩 住宅の種類と戸数は？

家賃は検討されているか？

答 建物は鉄筋造りで、単身用10戸・世帯用4戸・駐車場18台分を整備する。

家賃は今後検討して設定する。

上米良玲 村の住宅から村の住宅には入居できない流れとなっていると思うが、新しい住宅の利用促進と老朽化した住宅の改修や建て替えを進めるためにも、現在村の住宅に入居されている方の入居も考慮していただきたい。

工期は年度内か？

答 提案のあった形で検討していく。工期は令和7年3月を予定している。

◆一般会計補正予算

(第4号)

歳入歳出それぞれ488万9千円を増額し、予算総額が35億2,010万3千円となった。

上米良玲

選挙権が18才に引き下げられ、高校生・大学生もいるため、選管から選挙の説明や投票の仕方を文書で伝えて、投票をしやすくしていただきたい。

答 9月の定時登録で該当の方が15名程度いるため、保護者の方を中心にしっかりと啓発を行っていく。

財政健全化審査報告

●健全化判断比率

各会計において赤字は発生しておらず、一般会計の将来負担額についても負担額に対する財源見込み額が上回っているため、比率は発生していない。実質公債比率は、前年度の7.2%から0.1%減少し7.1%となっており、早期健全化基準の25%を大きく下回っているため健全な財政運営が行われていると判断できる。

●資金不足比率

対象となる公営企業は「簡易水道事業会計」及び「下水道事業会計」である。ともに黒字であり資金不足は発生しておらず、健全な事業運営が行われていると判断する。

▶▶▶▶▶ (株)米良の庄の営業報告 ◀◀◀◀◀

当期の経済情勢を概観すると、世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限の緩和などにより回復がみられたものの、ウクライナ情勢の影響により原材料、エネルギーの高どまりなど、先行き不透明感が高まり、経済は急速な円安に伴う物価高騰などの影響により回復は緩やかなものとなった。

このような情勢のなか、今年度は管理費の削減、働き方改革の推進、コロナ禍で落ち込んだ観光客の回復などを経営目標に運営を進めた。売上、来客数共に前年度よりも上がってはいるがコロナ禍前の売上、来場者数までには回復していない状況となった。

燃料費、電気代などの一般管理費が高騰する現状の中、5年度は村からの委託費を増額していただいたこともあり、会社の運営も持ちこたえることができた。

各施設全体の客数は5万5,029名(前年比106%)、全体売上1億5,275万3千円(前年対比112%)となった。村内経済効果は村内個人仕入れ445万2千円、村内業者仕入れ2,269万6千円、仕入以外(村内品等)・人件費含め7,633万千円となった。

施設名等	利用者数等	売上	施設名等	利用者数等	売上
西米良温泉館	3万8,106名	9,532万2千円	LPガス販売	333件	2,432万千円
双子キャンプ場	3,176名	954万2千円	物産加工	—	368万8千円
村所驛物産館	1万3,747名	1,969万9千円	ワーキングホリデー	3件	—

第1回臨時会(R6.7/31)

議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

契 約	カリコボーズの宿リニューアルに伴う水道施設工事の契約について 令和4年発生、村道横野古川線災害復旧工事の変更契約について
令和6年度補正予算	一般会計補正予算(第2号)

第3回定例会(R6.9/6~13)

議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

報 告	財政の健全化判断比率及び地方公営企業の資金不足比率について
条 例	西米良村国民健康保健条例の一部を改正する条例について
令和6年度 補正予算	一般会計補正予算(第3号)
	一般会計補正予算(第4号)(追加議案)
	国民健康保険事業勘定会計補正予算(第2号)
	国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第2号)
	介護保険事業勘定会計補正予算(第1号)
	後期高齢者医療事業補正予算(第1号)
	簡易水道事業補正予算(第1号)
	簡易水道事業補正予算(第2号)(追加議案)
	下水道事業補正予算(第1号)
令和5年度 決算認定	一般会計決算認定
	国民健康保険事業勘定会計決算認定
	国民健康保険診療施設勘定会計決算認定
	介護保険事業勘定会計決算認定
	後期高齢者医療事業決算認定
	簡易水道事業決算認定
	下水道事業決算認定

第2回臨時会(R6.10/3)

議案の採決結果

全員賛成で可決した議案等

契 約	宮之瀬定住促進住宅整備工事の契約について
-----	----------------------

現 地 調 査



浩然の気を養う補助金
かりこぼ「カラオケルーム」



小川・石打谷線(横野側)
台風10号被災現場
今後災害復旧対応



県営長藪復旧治山工事の
残土処理場(天包山)



森林環境譲与税で
整備した森林館



福祉住宅整備事業(上米良薬局跡地)
単身用4戸、2名用1戸



浩然の気を養う補助金
空き家店舗活用 nico hapi

9月定例会

決算認定

監査室より

補正予算

第1回臨時会

第2回臨時会

現地調査

一般質問

国道219号整備促進を国・県に要望

三市町村議会国道整備促進合同協議会による要望報告

国道219号道路整備促進の予算確保に関する提言活動を西都市、湯前町と行った。

要望事項は

●西都市古仏所工区、西米良村越野尾2工区、越野尾二之渡工区の早期整備促進

●西都市瓢丹淵から西米良村越野尾間の道路改良事業未着手箇所の早期着手

●湯前町上里工区付近の歩道の早期整備促進の3項目。

7月16日の午前中に熊本県土木部に対して湯前町の要望を行い、午後、宮崎県議会、宮崎県県土

整備部、河野知事に対して西都市、西米良村からの要望を行った。

参加者は、本村議会から議長・国道改良整備調査特別委員4名・村当局から村長他2名、西都市から議長・産業建設常任委員4名・市長他3名、湯前町から議長・企画経済建設常任委員4名・副町長他1名。

夕方には宮崎市で第57回定期総会を開催し、令和6年度事業計画等の審議を行った。

8月5日・6日の両日、国に対する提言要望活動を行った。

参加者は本村・西都

市・湯前町議長、委員長他関係議員など12名。

5日午前中、国土交通省九州地方整備局で、西都市西米良村の国道219号の現状を説明し、未改良区間の早期解消と予算確保を要望した。

対応いただいた石橋道路情報管理官から、当工区の説明があり、予算確保は地域の声が重要なので、要望活動については支援を続けていきたいとのことであった。同行く

ださった西米良村長から支援の挨拶をいただいた。

同日午後、東京に移動し、本県選出の国会議員、江藤拓衆議院議員、長峯

誠参議院議員、松下新平参議院議員の各事務所に要望書を提出した。

6日には国土交通省道路整備局で、山本道路局長、佐々木次長、西川技術課長、小林企画課長などに要望書を提出した。

この三市町村協議会の要望活動が始まり57年が経過したが、事業化されていない未改良延長が約9キロメートルあり、いまだ完成の目途は立っていない。しかし各要望活動を通して、執行部をはじめ関係機関、各部署と情報を共有し、密接に連携しながら継続的な要望活動を行うことが必要だと強く感じた。

架線集材の取り組みは？
▼コスト等の検証や支援策を検討する！



黒木敏浩 議員



昭和20年代から日本は戦後復興で木材需要が高まったが、自然災害や戦時中の乱伐などの影響で木材の供給が不足した。このため政府が「拡大造林政策」を推進したことにより、人工林が全国的に広がった。

本村は96%が山林で、

大部分が民有林であったため、植栽可能な場所についてはほとんどが人工林となった。

植栽当時は材価も高く、林業家は長期的な林業経営に取り組んだが、昭和

30年代の「木材の輸入自由化」による安い外材の増加や、「住宅建設の工法の変化」による国産材の需要の減少で、材価は平成20年にピーク時の3分の1の1万2千円程度となり、以後低迷が続いており、収入に繋がらないことから樹齢50年を

超えた山林が多く点在している状況である。

このことは林業の衰退につながったほか、放置された山林は山腹崩壊の原因の一つとなり、防災上の大きな問題ともなっている。

このような中でも、林道等が整備され、地形の条件がよい場所では、大型の重機を導入し、コストを削減した伐採が行われ、木材の搬出が行われている。

しかし、奥山や急峻な地形の場所では、架線集材が唯一の搬出方法となるが、架線集材はコストが高く採算性が悪くなることや、架線集材を行える人材が不足しているなど多くの課題を抱えている。

今後村内には奥山などの人工林が大切な森林資源ではあるものの、活用されずに残されていく可能性が高くなっているため、林業の活性化、防災の側面からもその活用を図ることが重要になると思っている。また、架線

集材の技術の継承は、技術を持っている方の高齢化があり、急がれるところである。

そこで、

○架線集材を行うことによる採算性等の検証及び若い林業従事者への技術継承を目的とした試験的な架線集材の実施はできないか。

○皆伐に対する支援というのとはなかなか難しい面があると思うが、架線集材を導入する山林所有者に対する支援策はないか。

以上2件について、村長の考えを伺いたい。

村長

西米良村内の人工林は1万1,387haで、蓄積が583万2,000m³である。

林業従事者は10事業体41名で、平均年齢が56.

9歳となっている。

本村の特徴は、個々の森林所有面積が大変広く、林業への関心が高い。

県の再造林率が73.3

%だが、本村は80%という高い実績となっている。

また、令和5年度では地籍調査が完了したため、所有森林の境界が明確で林業環境の整った村とも言える。

令和6年3月末現在の

林道延長は108kmで、急峻な地形が多いことから、1ha当たりの林内道路密度が県内平均と比較して10m低い状況となっている。

現在の素材生産の多くは大型重機を活用し、生産性の高い集材が主体となっており、林道沿線などの好立地人工林は伐採が進んでいるが、一方で

は近年は伐採箇所が奥地

化し、搬出コストが増大するため、山林所有者が伐採を行わない傾向がある。

架線集材は作業員を1日作業あたり4名から5名程度を要すること、そして地形等の条件にも

よるが、重機集材と比較して搬出量が2分の1程度となることから、採算性が非常に悪いとされている。

近年、村内の林業事業体が、最新鋭の架線集材システムを導入した。この機材は従来、作業員がワイヤーを用いて、荷掛け荷外しを行っていた作業をグラップルに変え、集材箇所に移動させることで、人力作業を減らし、安全性を高めるものである。また重機による集材作業等兼務しながら、リ

モートでグラップルを操作することで、人件費を制御し、架線集材による搬出を行っている。

このような状況で、議員から質問のあった試験的な架線集材の実施だが、次年度以降に村有林を活用して架線集材による搬出計画を検討している。

架線集材を実施し、期間や作業効率、そしてコスト等の検証を行いたいと思っている。あわせて、林業事業体と架線集材に対する認識等について意見交換を行う。

架線集材を導入する山林所有者に対する支援策については、架線集材の省力化、低コスト化を図ることが森林所有者の支援につながると考えており、スキルアップを目的に、村有林を活用して計

画的な伐採を行う。また、架線集材機械等の支援について検討を行う。

重機集材と架線集材の

経費等について、資料収集を行い、支援につなげることを検討していきたい。

景観も悪い状況にある。

当地区は年々高齢化と人口減少により空き家も多くなり、現在38世帯の59人まで減少し、地区の存続もこのままでは厳しい状態である。

おがわ作小屋村も運営当時は客数が2万人を超えていたが、新型コロナウイルス感染症・通行止め等の原因で、客数は半分以上まで減少した。お客様がおがわ作小屋村に来てもらって、食事して周辺を散策するだけで、子供の遊ぶ施設もない状況である。

そこで、旧小川中学校を解体撤去し、民間企業と連携を図り、例えば

遊具施設を備えたドッグランの施設やインターネッツト企業等の誘致を進めていただき、おがわ作小屋村の集客の増加と定住促進のために必要だと考えるが、村長の考えを伺いたい。

村長

旧越野尾小学校舎、地区の活動などで活用していたが、今は使っていない部分が多く、これらについても地区での活用のほか、民間の活用も視野に入れている。

旧小川中学校は校舎が鉄骨造2階建て、765平方メートル、隣接する構造が木造平屋建てで137平方メートルと比較的大きく、解体する場合は費用が高額になることや、施設の整備ににおいては崖地対策が必要となり、今の段階ではなかなか難しい。そのため本村としては、旧小川小中学校を解体撤去して、施設整備のほうは現在予定していない状況である。また、旧小川小中学校のほか旧横野小学校校舎、またこのほかにも、今年

旧小川小中学校 解体撤去について ▼ 人材確保や本村の 現状に合った振興 策を検討



上米良重光 議員

旧小川小中学校は宮崎

県でも歴史のある学校であった。現在の校舎は昭和42年に建設され、生徒数の減少により、平成元年4月におしまれて閉校になった。建設から57年が経過し老朽化も進み、

度ふるさと財団の外部専門家派遣事業を活用し、

専門家にお越し頂き、人材確保や本村の現状に合った振興策についても検討しているところである。

このような中、おがわ作小屋村の敷地内にあり当初整備していた池などが枯れて荒地地になっており、せつかくの景観を

阻害しているため、この場所を村民や観光客がくつろぎながら交流できる場所にできないか検討している。特段遊具等を置

かなくとも景色を楽しむような花や紅葉をゆつくり楽しめるスペースに

なればよいと考えており、旧小川小中学校跡地を活用しなくともいろいろな仕掛けをすれば、都会の公園にはない田舎らしい

魅力づくりにもつながると考えている。

今後小川地区活性化のため、おがわ作小屋村を中心とした活用方法な

児玉義和 議員



温泉館「ゆたーと」従業員の環境整備が必須！

▼ 米良の庄と連携を図り対応していく

創業以来25年を経過している西米良温泉「ゆたーと」は、本村の観光名所の筆頭として運営がなされ、村民の誇りとして県内外にその存在を知ら

ど、作小屋協議会と小川地区の方とも交えて検討していきたいと考えている。

しめ、村外客の誘引に大きく貢献して来たことはご存じの通りである。

しかし、ここ数年においては、コロナウイルス感染症予防対策も相まって、利用者、来客数が減少し、以前のような活気がないとの声を聴くようになった。

その要因を考えてみると、自然災害等をはじめとする外部要因が起因するものも十分予想され、よけて通ることはできず、不可抗力的なものがあると思う。

一方、内部要因として

は何も考えられないだろうか。今一度見直してみ

るのだろうか。西米良温泉「ゆたーと」は、個人の企業ではない。

施設の老朽化も十分検討すべき内容であると思うが、それ以上に重要な

「温泉は変わらず最高だけど、売店の品切れブ

ではないかと思われる。人手不足、人手不足と言

「川床に行きたいけど、

職者が出ている。残された従業員の仕事範囲は広がる。無理が出てくるのは当然だと思う。

という声も耳にした。

昨年度については、食堂従業員が不足のため、1ヶ月1日の定休から、週1の定休に変更され対

各職場の働き方改革が叫ばれる中、特に人手の少ない本村においては、

応答されているようだが、苦肉の策だと思われる。

既存の従業員の皆さんに

しかし、それで本当にお客様に従来通りのサー

うかが重要な問題だと思う。風呂掃除には、村民有志の朝風呂会の皆さん

の多大なる協力をいただき成り立っている。

温泉周辺のハード面は、随時改善がなされているが、ソフト面で一番肝心と思われる従業員の環境整備については、後手後手になっているのではな

いかと考える。西米良温泉「ゆたーと」において働く者が快く仕事に従事できる環境の改善策が喫緊の課題ではないかと思うが村長の考えを伺いたい。

村長 株式会社米良の庄は令和5年度に29期目を迎え、その設立の目的に沿って、観光振興、交流対策及び本村の活性化に努めていただいている。そのような中であるが、長引いた新型コロナウイルス感染症の影響やキャ

ンプ場リニューアルの遅れなどから、思うように観光客の増加を見込めない状況が続いたのは御承知のとおりだと思う。また、国の進める働き方改革に対応した職員の待遇を整えるため、毎週火曜日はお食事どころを休業、毎週水曜日を休館日にして対応している。

キャンプ場のリニューアル事業については、大変お待たせしているが、本年度順調に進めており、キャンプ場内の造成工事、給水施設の建設、オートキャンプ場の整備など、年度内の完成を目指して取り組んでいるところである。

一方、従業員の環境整備については、従業員の退職後の新規雇用がうま

くいかずに、後手に回っているのも事実であると考ええる。

このような状況を改善すべく本村としては、本年度1年をかけて、西米良温泉が多く観光客を迎えられる体力を備えるため、2つの取組を行っている。

1つ目の取組が地域おこし協力隊を活用した人材確保である。今回の補正でお願いしているが、12月より地域おこし協力隊として米良の庄に2名の職員を雇用する予定である。

2つ目の取組が総務省の事業で地域活性化起業人の活用である。この事業は、都市部の企業から社員を派遣頂き、その社員の専門的なノウハウや

知見を生かし、即戦力として業務に従事しながら、地域活性化を図る事業である。この事業を活用することで、不足する温泉職員の人員確保につなげるとともに、現在の運営方法の見直しやインバウンド対策、キャッシュレス化への向けた発展的な取組につなげられるのではないかと考えている。

また、米良の庄では独自に経営コンサルティングに依頼して、職員から直接困り事のヒアリング等を行っており、効率的な業務運営、職員の意識改革、持続可能な施設運営について分析検討を行っている最中である。特に米良の庄においても、職員不足に危機感を感じており、村外のイベント等

に出展をする際にも、職員募集のチラシ配布や村の観光PRに積極的な努めながら、地道な取組も行っているところである。

西米良温泉は村の観光施設の中心的な役割を担っており、介護予防拠点施設の宿泊所への改修やオートキャンプ場の整備に伴って大きく増えるであろう観光客の受入れ体制の構築は、極めて重要である。本村としても、米良の庄と十分連携を図りながら、ハードソフトともに整備してまいりたい。





《ジビエカーの実証実験始まる!》

上米良地区のジビエ加工処理施設にジビエカーがやってきました!

ジビエカーとはウインチや水栓、シンクや冷蔵庫などが装備されている移動式の解体処理車両です。

上米良の処理施設では、村内で捕獲されたシカやイノシシの解体、食品加工処理を行っていますが、多いときでは月に40頭以上、少ない時期には20数頭と持ち込みに差があるそうです。

代表の小佐井武憲さんは、「ジビエカー実証実験のきっかけは村外の方から捕獲したシカの処理が出来ないかと相談されたこと。遠方だと捕獲から2

時間以内に処理することができないが、ジビエカーなら現地で解体処理できる。頭数が少ない時期に児湯管内を含め、広域に捕獲することで処理頭数を確保できる」と語っていました。

これから期間限定で運用される実証実験の結果を踏まえ、次年度以降の計画を策定していきます。



↑シカ肉加工品の袋詰め作業

編集後記

今年の夏は各地方で35度を超える猛暑が続きましたが、ようやく秋らしくなり、米良の山々も色づき始める季節となりました。

9月には各地区で敬老会が開催され、これまでのご苦勞に感謝いたしたところです。地元アイドルグループ「ゆずっこガールズ」によるかわいいダンスも披露され、敬老者の皆様も元気をもらった様子でした。

月の神樂は、雨が心配されましたが、多くの来場者を迎え盛況に終了しました。

第3回定例議会が9月6日から8日間開催されました。令和5年度決算審査、補正予算、条例改正等の議案審議と一般質問があり活気ある議会でした。今後も議会と行政で力を合わせて進めてまいります。

最近では地震等による自然災害が発生しております。十分注意しましょう。(重光)

議会広報常任委員会

委員長 児玉 義和
副委員長 黒木 敏浩
委員 田爪 朝幸
上米良 重光